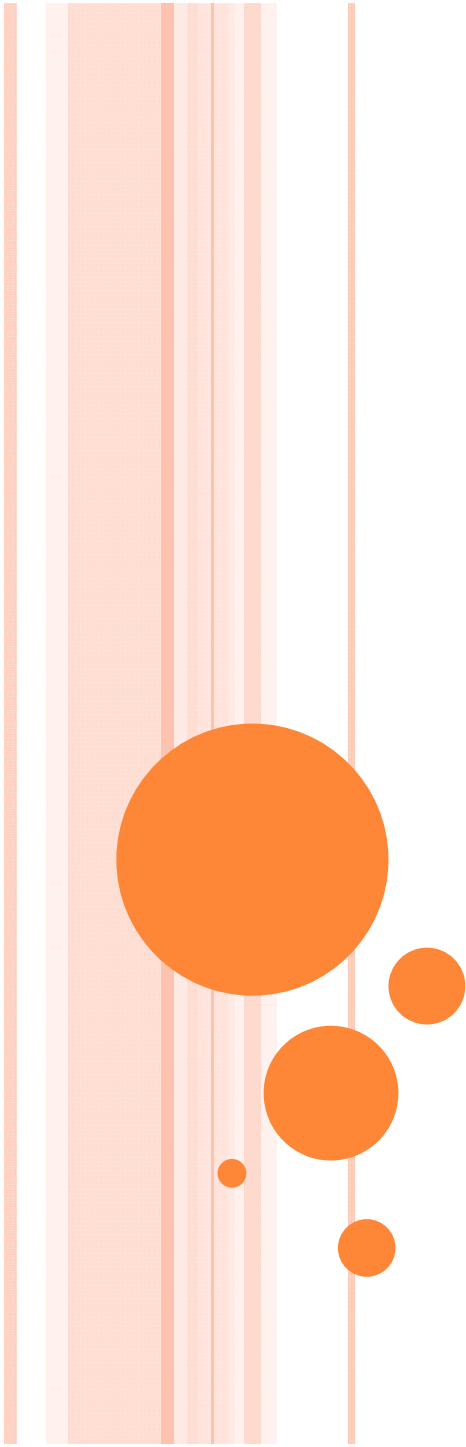
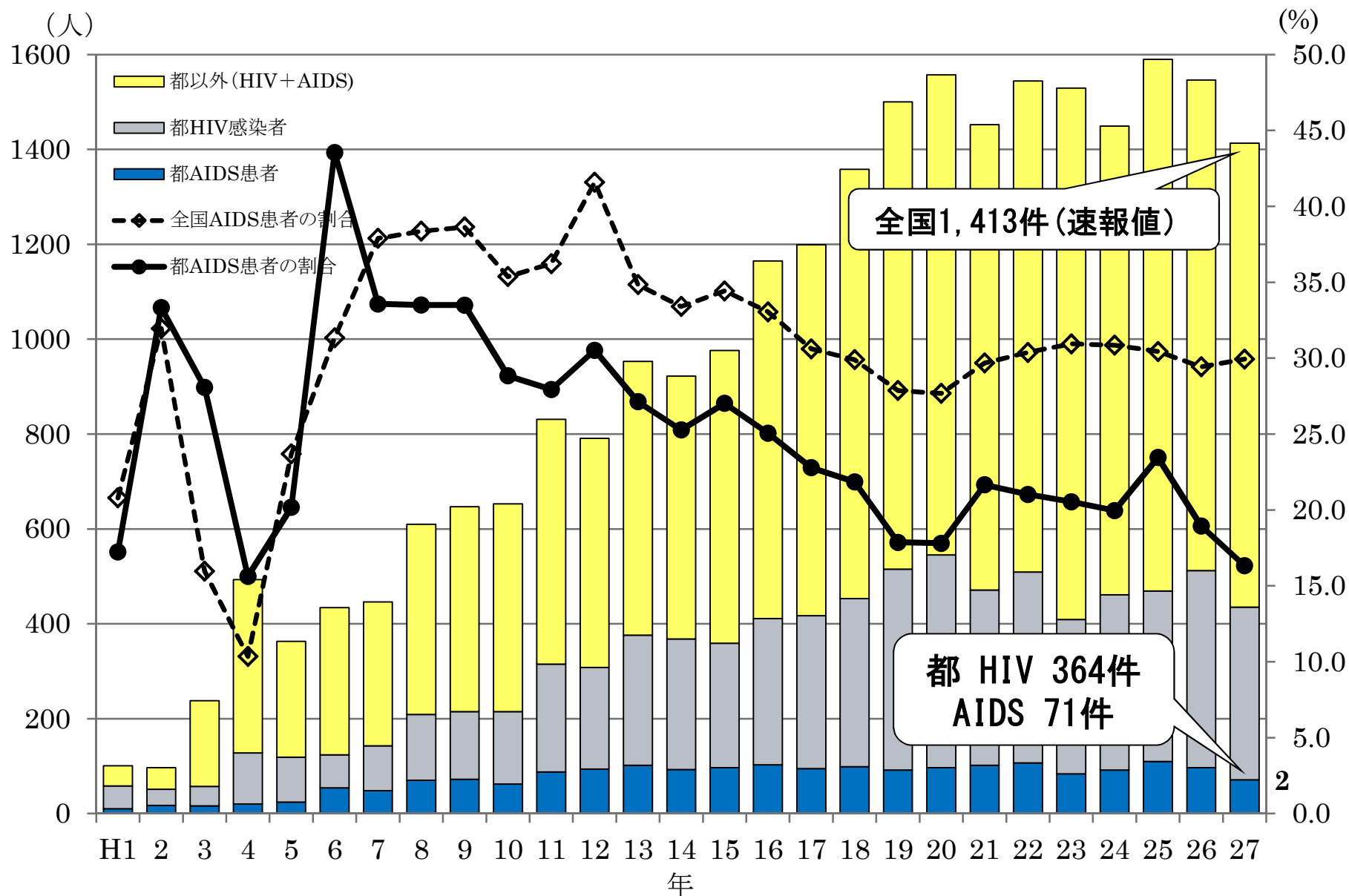




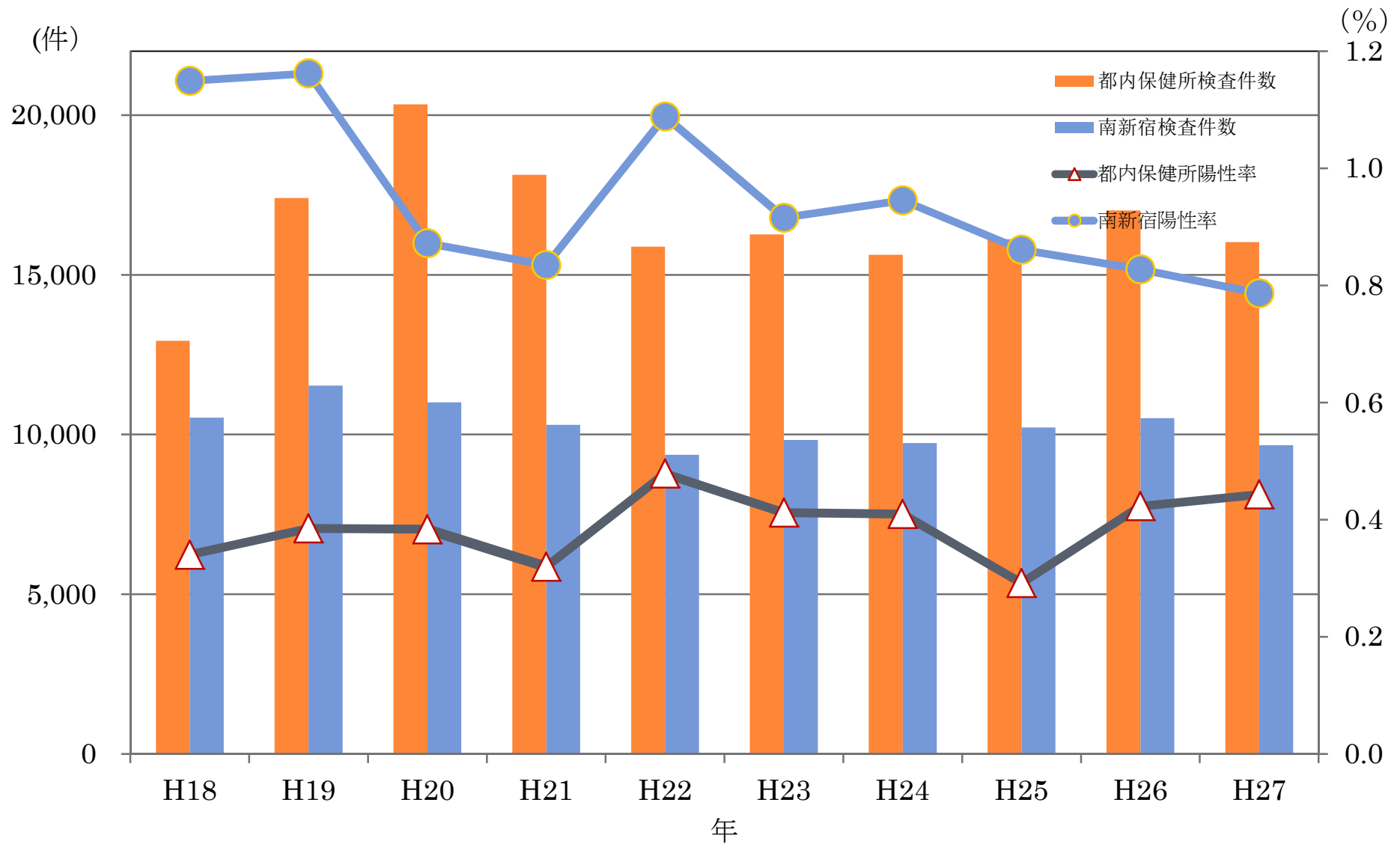
東京都における エイズ医療体制の整備

東京都福祉保健局健康安全部
感染症対策課

全国・東京都のHIV感染者・AIDS患者報告数の推移



都内検査施設の検査件数及び陽性率の推移



東京都の検査相談体制

HIV検査実施施設（無料・匿名）

① 区・市・都保健所(性感染症検査)

② 東京都南新宿検査・相談室

場所：新宿駅南口徒歩3分

時間：平日夜間(15:30～19:30)、土日(13:00～16:30)

祝日と年末年始以外、開室

検査：HIV通常検査、梅毒検査(水・日、来年度より土追加)

月間中は、梅毒・クラミジア・淋菌の検査を毎日実施

予約：電話又は 携帯サイト

③ 東京都多摩地域検査・相談室

場所：多摩立川保健所

時間：土曜日(10:00～15:00)

検査：HIV迅速検査

予約：午前中のみ予約あり

東京都のエイズ対策の方針

○エイズ対策基本方針(平成4年制定)

1. 感染拡大の防止
2. 医療の確保と感染者への支援
3. 偏見のない社会づくり

➡ 基本方針を踏まえ、中長期的な視点に立って、感染予防から療養生活の質の向上に至るまで総合的なエイズ対策の推進

のために「エイズ対策の新たな展開」を策定(平成21年)

- I エイズ及びHIV感染に対する理解の促進
- II 感染拡大の防止
- III HIV陽性者の支援
- IV 目標を実現させるための基盤づくり

HIV陽性者の支援

- **働き学びながら治療を受けられる環境を整備**
 - ・HIV診療を担う医療機関を確保し、相互の連携を強化
 - ・医療機関同士のネットワークづくり

- **地域におけるHIV陽性者の生活を、そのニーズに合わせて支援**
 - ・地域でHIV陽性者と係る医療・福祉職の啓発・育成

東京都のエイズ医療体制

国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター

連携

支援

エイズ治療地方ブロック拠点病院

連携

支援

東京都

エイズ診療中核拠点病院
(エイズ治療中核拠点病院)

連携

支援

エイズ診療拠点病院
(エイズ治療拠点病院)

エイズ診療協力病院

連携
支援

**エイズ
診療連携
病院**
(都独自
制度)

患者紹介

**エイズ診療協力
歯科医療機関**

東京都のエイズ診療拠点病院及び エイズ診療連携病院

★ エイズ診療拠点病院: 44か所
(★ 中核拠点病院3か所)

★ エイズ診療連携病院: 9か所

★は自治体別の分布であり正確な所在地ではない

二典題 <http://www.trojan.ac.jp>

医療機関の確保と連携の強化

● エイズ診療協力病院運営協議会

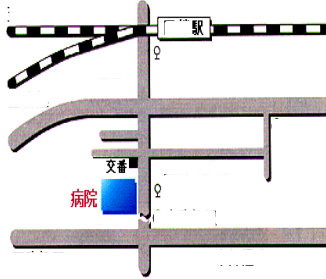
エイズ診療の中核となるエイズ診療協力病院相互の連携を図り、診療体制のネットワーク化を推進

- ・「初診受診案内」の作成
- ・「HIV感染防止のための予防服用マニュアル」の作成
- ・情報共有のためのミニシンポジウム 等

● 拠点病院等看護師連絡会

診療実績の多い拠点病院(10か所程度)の看護師による情報交換や困難事例の検討

初診受診案内

病 院 名	東京都立〇〇病院						
住 所	東京都〇〇区〇〇 ×-×-×						
電 話 番 号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇(代表)						
FAX 番 号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇(代表)						
交 通 機 関	JR山手線 〇駅 徒歩約〇分 都バス(〇〇病院行き) 「病院前」下車						
							
自立支援医療 (HIVによる免疫機能障害の自立支援医療の指定医療機関)	☐ 有 ☐ 無						
指定医師 (HIVによる免疫機能障害の障害者手帳申請に伴う診断書を記載する指定医のいる医療機関)	☐ 有 ☐ 無						
《初診手続きの間合せ先》 電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 担当者(課) 電話予約室							
《初診予約について》 * 紹介状を用意の上、必ず診療を予約する 予約必要 → 電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇(予約専用) (月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00) 担当者(課) 電話予約室							
《初診時の手順について》							
①初診患者の診療日及び時間帯 ※要予約							
時 間 / 曜 日	月	火	水	木	金	土	日
9 : 30 ~ 13 : 30	○	○	○	○	○		
②初診の受付窓口 感染症科受付							
③初診の受付窓口で紹介状の提示のみで、患者さんがエイズやHIV感染について話さなくても受診可能か？ 可能 → 診療申込書を記入の上、保険証・紹介状・各種医療証などと一緒に窓口へお出しください。							
④初診時、必要なもの等。 ☐ 紹介状 ☐ 保険証 ☐ 印鑑 ☐ その他 (各種医療証)							
⑤紹介状の発行日から、初診日までの期間制限 制限なし							
⑥紹介状を紛失した場合 再発行等により必ず紹介状をご用意ください。							

《病院情報》 通常の診療(初診除く)やサービスについて								
①HIV診療科の情報(再診)								
診療科名	診療時間	曜 日						
		月	火	水	木	金	土	日
感染症科	9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○		
	13:00 ~ 15:00	○	○	○	○	○	(火曜は13:00~14:00)	
②病院のエイズ診療の特色等 エイズの専門外来を行っており、臨床経験は非常に豊富です。最近では、積極的な診療によりHIV感染症は十分治療可能な病気になってきました。早期診断と早期治療がより重要となってきています。								
③専任の担当看護師 窓口 → 感染症科外来								
④HIVのカウンセリング体制 窓口 → 感染症科外来								
⑤MSWによる福祉相談 窓口 → 医療相談室								
⑥服薬指導 窓口 → 薬剤科(感染症外来個室にて行います。)								
《その他》 円滑な診療を進める上での参考事項等 休診日は日曜・祭日・年末年始(12月29日~1月3日) 紹介にあたり、ご予約及び感染症外来にご連絡をお願いいたします。 御予約の際は代表番号ではなく、必ず予約専用ダイヤルを御利用下さい。								

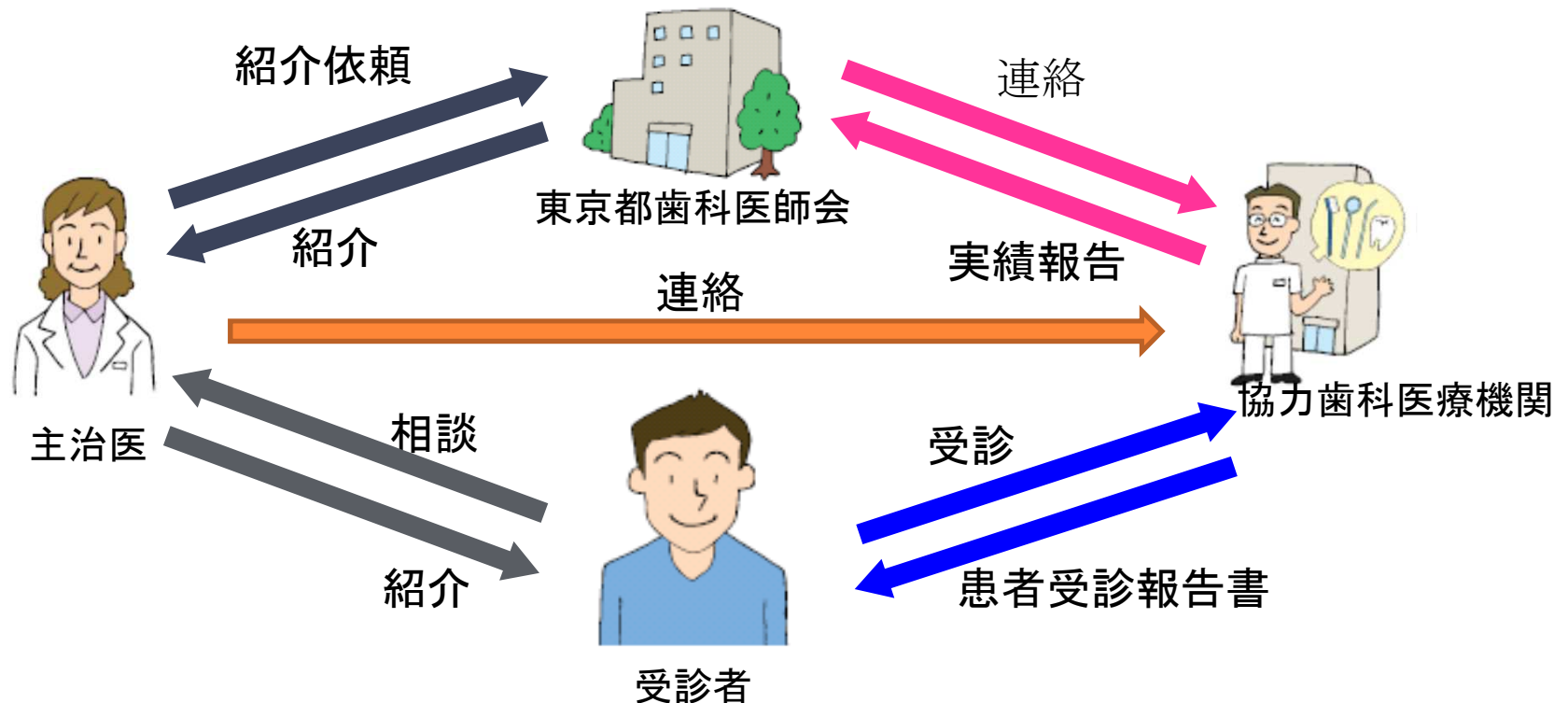
診療日時については受診前に必ず御確認ください。

医療機関同士のネットワークづくり 東京都エイズ協力歯科医療機関紹介事業

- ・平成12年事業開始

平成28年2月現在102医療機関(23区:83、多摩地区:19)

- ・協力歯科医療機関運営協議会



医療機関同士のネットワークづくり 歯科に関連した取り組み

● 歯科臨床研修の実施

- ・診療拠点病院及び診療連携病院で実施
- ・3コース、全6回実施
 - 基礎コース:2日 主に標準予防策
 - 標準コース:2日 標準予防策＋HIV陽性者の診療の実際
 - 実践コース:1日 HIV陽性者の数多くの症例
- ・対象:歯科医師、歯科衛生士、看護師
- ・定員:36名(各回6名)
- ・代替職員雇用経費補助あり

● 歯科講習会の開催

- ・都歯科医師会に委託して年2回開催
- ・内容:HIVの最新の状況(HIV専門医)
HIV陽性者診療の実際(協力歯科医療機関)
- ・対象:都内の医療機関に勤務する歯科医療従事者など



透析を必要とするHIV陽性者の受け入れに関する調査(平成23年2月)

調査結果概要

- 都内透析医療機関及び東京都エイズ診療協力病院・計469で調査
- 診療所では、9割弱が外来の維持透析に対応している。
- 9割以上でB型肝炎(HBe抗原陽性)又はC型肝炎患者の受入れ経験有り。
- HIV陽性者の受入れ経験は、拠点病院を除くと、2～5%程度
- HIV陽性者の受入れ経験がある医療機関では、今後も陽性者を受入れる意向の割合が高いが、経験がない医療機関では、拠点病院を除くと「受け入れることは難しい」が6割を超える。
理由は、「専用のベッドが確保できない」が最も多い。

⇒ 平成24年度より透析に関する医療従事者向け講習会を開始

地域で陽性者と係る医療・福祉職の啓発・育成

- **HIV/AIDS症例懇話会**

- ・中核拠点病院を中心に診療拠点病院や一般医療機関との間でエイズ診療経験の共有化を図る。
平成27年度は計4回開催。うち2回は長期療養支援をテーマとし、訪問看護ステーションや地域包括支援センターも対象にした。

- **医療従事者向け講習会**

- ・医療従事者向けにエイズに関する知識の向上を図る。
「見落とされやすいHIV感染症～早期診断のために～」
「HIV陽性者の透析医療を始めるにあたって」



まとめ

○ 検査体制について

夜間、土日に対応する検査相談室の設置は、検査数の維持と感染者の早期発見に役立っている。

○ 医療体制の整備について

HIV陽性者が、地域で必要な医療サービスを受けながら長期療養ができるような医療体制を構築している。

- ・HIV診療を担う医療機関の確保と相互連携の強化
- ・HIV診療以外のお科連携や歯科診療体制のネットワーク化、透析医療機関等への啓発

協力歯科医療機関や透析医療機関の拡大が今後の課題。



ご清聴ありがとうございました。